

人・街・ながた 震災資料室ニュース

2009. 6. 17

発行人 寿 広文

編集人 武川泰恵・藤原美紀

阪神・淡路大震災15年企画

自治労本部(当時の役職者)への聞き取り調査

人・街・ながた震災資料室は大震災15年企画として自治労本部(当時の役職者)へ聞き取り調査を行う。戦後、日本で起こった都市型大規模災害に立ち向かった経験は将来の指針となったり、後世への貴重な歴史資料になる。

当資料室では「阪神・淡路大震災」での貴重な体験を後世に伝えていくため、資料の収集・保存公開を行っています。昨年は震災で得た貴重な経験を文章で表現できないことがらを「声」で記録する取り組みをしてきました。

当時の長田区職員28人、真陽小学校で避難所運営をされた自治労長野の22人のみなさんのご協力をいただきました。

今年は、当時2万2千人の組合員を派遣し公共サービスの特性を発揮した自治労への聞き取り調査を行います。自治労は長田区での避難所、配給センターの運営や罹災証明書や義援金事務を支援され、長田区役所3階に24時間体制で「自治労デスク」を置き、災害対策本部と調整しながら活動をされました。

「聞き取り調査」は神戸学院大学人文学部水本浩典ゼミナールと協働で行い、録音データ・文字起こししたデータ等は資料室の所蔵資料として保存し外部への流出がないよう万全を期します。

調査の概要

①作業委員会を設けて行います。

構成は次の各団体

人・街・ながた震災資料室、神戸学院大学人文学部水本ゼミナール、自治労中央本部(企画局)、同兵庫県本部(政治政策局)、兵庫地方自治研究センター

②聞き取り調査は面接方式

③日程

6月 作業委員会発足

7~9月 聞き取り調査

10~12月 テープ起こし、校正、製本

2010年1月17日 一般公開

第11回戦跡ウォーク

神戸空襲を記録する会 中田政子

6月7日(日)午前10時、鷹取駅前には人で一杯になった。今回は妹尾河童氏の作品「少年H」の育った町を歩こうと企画。林五和夫氏も同行してくださる。妹尾氏の実妹の「好子ちゃん」も皆さんと一緒に歩いてくださる。健康状態が案じられたのだが、懐かしい風景と懐かしい人たちに囲まれて、とても楽しそうに見受けられた。

満福寺では、田辺真人氏(園田学園女子大学)の長田の地名・林田の地名の歴史講義をうかがう。「少年H」一家が通っていた教会では日曜礼拝中なので当時の写真を外壁に展示して下さっていた。

鷹取北公園では、旧鷹取機関区を目標にした模擬原子爆弾の話。機関区には落ちなかったが近くの東須磨駅北に長崎と同じ大きさのプルトニューム爆弾が落とされた。



最後の浄徳寺では、焼夷弾で焼け焦げてしまっ、空洞になった幹から新しい命をつないでいる木々を見学し、住職の「空襲は人災。人災は人の力でとめられる。」という力強い言葉で解散した。

ながたさん（長田神社）の街、長田町

4回の国勢調査を比較して 26

	1965年	1975年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	05 09
世帯数	684	674	562	563	417	525	551	0.98
人口	2,497	2,043	1,534	1,384	946	1,122	1,170	0.85
男	1,207	950	721	639	447	519	538	0.84
女	1,290	1,093	813	745	499	603	632	0.85
区合計	214,345	185,974	148,590	136,884	96,807	105,464	103,771	0.76

長田の名のおこりは苅藻川に沿って長く拓けた田畑の美称としておこったと言われている。

文献では「日本書紀」神功皇后の条で、住吉・広田・活田(生田)とならんで「事代主尊誨えまつりて曰く、吾を御心長田国に祀れ」と出てくる。

長田神社は追儼式や薪能が有名で、神域はヘサキを北に向けた船の形をしている。区民からは広く「ながたさん」の愛称で呼ばれている。

さて、長田町であるが1丁目から北へ9丁目まで伸びている南北の街であり、長田神社前商店街周辺の再開発事業が行われ'88～'89年にサンドール長田北館・南館が完成した。(名称は参道とモール(木陰のある散歩道)から)。また震災後、長田・箕谷線が開通し道路事情が改善された。歩道には「ハナミズキ」が植えられ、「ハナミズキ街道」と呼ばれている。

震災による被害は表のとおりであるが木造家屋が多い緩やかな坂の街であるため、昔の石積みの基礎の家屋が多かったために、全・半壊率が67%になっている。

'95年の人口減少率が32%で1,384人から946人



り災状況

全棟数 361棟
全・半壊 67%

になっている。

ところが震災後は回復傾向になっており、'00年に176人、'05年で48人増えている。長田・

箕谷線の開通が影響してしていると思われる。

〔 追儼式 〕

追儼(ついな)とは、悪鬼を追い払って来るべき年の幸福を願う行事で、通称「おにおい」「おにやらい」ともいい、各家庭で行われている豆まきも同じ。

室町時代から薬師堂の行事として続けられ、明治になって長田

神社で受け継がれた。7匹の鬼は、1番太郎鬼、赤鬼、姥鬼、呆助鬼、青鬼、餅割鬼、尻くじり鬼と呼ばれている。

(ながた すこやかマイロードより)

